

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

令和元年10月31日

和泉市長 あて

団体名 特定非営利活動法人
こどもNPOセンターいずみっ子

代表者名 弓削 任代

所在地

電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 おもしろ体験型市場「こども市」
2. 事業の概要 子どもたちが、自由な発想で自分のお店をつくり、マーケットを形成。
次世代を担う青年や大人が、サポーター（支援者）として協働する。
3. 事業費総額 158,000 円
(うち、対象経費 148,000 円)
4. 交付希望額 74,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジン コドモエヌピーオーセンターイズミッコ		
団体名	特定非営利活動法人 こどもNPO センターいずみっ子		
団体の目的	子どもたちの豊かな子ども時代を保障し、子どもも大人も育ち合える地域づくりを目的とし、乳児から青年までの成長を見通した各々の世代の体験の場と、異世代の交流の場を創造し、地域社会の発展に貢献する活動を継続して実施する。		
市内事務所の所在地	電 話		F A X
フリガナ	ユゲ タダヨ		
代表者氏名	弓削 任代		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ マルヤマ ミツヨ		電 話
	丸山 光代		F A X
設 立 年 月	活動開始 1993年10月 法人格取得 2004年10月	主な活動地域	和泉市内
会報等の発行	有(年間12回発行)・無	会員数	154人
メールアドレス			
ホームページ	https:// izumikko.org/		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業 ・子どもの体験活動 ・異年齢交流活動 ・鑑賞活動 ・講演会、講習会の実施 		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもキャンプ(7月・2泊3日) ・演劇体験ドラマスクール月2回実施 ・「何でもありコンサート」開催(12月) ・和泉市子育て支援地域拠点施設事業 ・異年齢交流野外活動(2月) ・親子クッキング ・鑑賞活動 ・ファミリーサポート事業 		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	H28年度	子どもゆめ基金 和泉市文化協会活動助成	389,000円 50,000円
	H29年度	子どもゆめ基金 大阪府芸術文化振興事業	481,000円 277,000円
	H30年度	子どもゆめ基金 大阪府芸術文化振興事業 和泉市文化協会活動助成	497,000円 186,000円 50,000円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

<p>申込事業の名称</p>	<p>おもしろ体験型市場「こども市」</p>	
<p>事業の必要性 *別紙添付可</p>	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 子どもが主体となって社会や地域へ参加する機会が少なくなり、異年齢との接点が減っている。また、仲間と協働する体験も貴重なものとなっている。 加えて、大人側へも地域社会で子どもを育む動機を促したい。</p> <p>（申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果） ・実際の金銭の流通を組み入れることにより、子ども自身が出店者としてブースを管理する責任と、必要性を自覚する。 ・仲間と協力することの大切さを体験する。 ・働くという未来体験につながることを期待する。 ・様々な年齢の人と接することを体験する。</p>	
<p>事業内容 *別紙添付可</p>	<p>（主な対象者）小学生以上の子ども 参加予定者数 出店：100人</p> <p>（事業実施期間）令和2年5月10日（日）</p> <p>（事業実施場所）エコールいずみ アムゼ広場</p> <p>（問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 子どもたちが、自由な発想で出店に臨み、マーケットを形成。そこで仲間と協働すること、様々な年齢の人と接することを体験する。 こども銀行をはじめとし、子どもが責任を担う設定が随所にある。 出店参加者、学生スタッフ、大人スタッフ、来場者のすべてが、「こども市」を形成する一員である。子どもたち本来のはつらつさと、一生懸命な姿に触れることができ、地域社会での子どもの育みの必要性を実感してもらえる取り組みである。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月） R2年1月 2月～ 3月 4月 5月 5月10日</p>	<p>内容 学生・おとなスタッフ募集 出店者募集開始 市内全小学校にチラシ配布（出店募集） 第1回出店者向け説明会 スタッフ・音響技術者・司会者、打ち合わせ会議 ビジネスマナー講座 第2回出店者向け説明会 市内全小学校にチラシ配布（開催告知） こども市店長会議 （出店する代表者とスタッフの最終会議） スタッフ打ち合わせ会議（現地地下見、確認作業） こども市当日 8:00スタッフ集合 13:30こども市閉店 9:00出店者搬入開始 14:00後かたづけ 10:00オリエンテーション 15:00解散 10:30こども市開店</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第5条・第12条関係）

収 支 予 算 書

事業の名称 : おもしろ体験型市場「こども市」

1. 【収 入】

(単位：円)

項目	金額	精算根拠
支援金	74,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	3000	出店参加費
自主財源	81,000	
合計	158,000	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	精算根拠（数量、単価等）
報償費	23,000	ビジネスマナー講師謝礼、銀行員への参加賞、音響技術者謝礼
旅費	10,000	講師、スタッフ交通費
消耗品費	55,000	インク、文具、テープ類、用紙代、など
食料費	10,000	お茶(200円×45人)、講師昼食代
食料費(対象外)	10,000	スタッフ打合せお茶代、スタッフ当日昼食代
印刷製本費	30,000	チラシの印刷、カラーコピー代
役務費	2,000	郵便料、指定ゴミ袋
使用料及び賃借料	18,000	機材の運搬車使用料、賃借料
合 計	158,000	
対象経費	148,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(はい) ・ (いいえ)

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか？

(自主財源の追加でまかさないます)

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。